

超音波内視鏡検査による膵臓がんドック



2022.6
no.195

飯塚病院だより

飯塚病院だより no. 195
2022年(令和4年)6月10日 編集・発行 飯塚病院 広報課 印刷 マツオ印刷株式会社

「膵臓がんドック」について

膵臓がんは、日本全国で1年間に約4万1千人が診断されています。男女別にみると、男性では約2万1千2百人、女性では約1万9千8百人とやや男性に多い傾向があり、50歳頃から増加し始めます。血縁のある家族に膵臓がんになった人がいること、糖尿病や慢性膵炎、膵管内乳頭粘液性腫瘍(IPMN)にかかっていること、喫煙などが、膵臓がんを発生するリスクを高めることがわかっています。がん検診の目的は、がんを早期発見し、適切な治療を行うことで、がんによる死亡を減少させることです。膵臓がんについては、現在、指針として定められている検診はありません。気になる症状がある場合には、医療機関を早めに受診されることをお勧めします。今回は、膵臓がんなどの膵臓・胆嚢・胆管疾患の早期発見のための超音波内視鏡検査による『膵臓がんドック』について解説します。

(参考文献：国立がん研究センターがん情報サービス膵臓がん基礎知識)

監修 特任副院長 赤星和也

01 新任部長のご紹介(2022年4月1日就任)

- 放射線科統括部長 兼 主任部長 佐々木 智成
- 形成外科部長 井野 康
- 小児外科部長 竜田 恭介
- 皮膚科部長代行 井手 豪俊

02 飯塚病院公式LINEで医療に関する「知っ得」情報をお届けしています。

友だち登録して最新情報をゲットしてください！

友だち登録の手順

QRコードから友だち追加

- ① LINEアプリの「友だち追加」→ QRコード
- ② 下記のQRコードを撮影
- ③ 追加をタップで登録完了

ID検索から友だち追加

- ① LINEアプリの「友だち追加」→ 検索
- ② 「ID」を選択 → 「@qsu3427e」を入力
- ③ 追加をタップで登録完了

※登録いただいた方の氏名や画像などは、病院側からはわからないシステムです。

LINE 公式アカウント

医療に関する「知っ得」情報を、LINEでお届け。



飯塚病院

03 浸水対策工事完了のお知らせ

この度、豪雨災害への備えとして、飯塚病院周辺に擁壁※1と止水板を設置する工事を行いました。擁壁と止水板は浸水被害が想定される全ての場所に設置しています。飯塚病院は災害拠点病院※2であり、様々な状況の中で患者さんに継続して医療を提供できるように努めています。これからも地域のみなさんが安心して受診できる環境作りを目指してまいります。

- ※1. 水害や土砂災害への対策として設置する壁
- ※2. 災害時における医療提供の中核的な役割を担う医療機関

(福岡県庁ホームページより)



特集 超音波内視鏡検査による膵臓がんドック

飯塚病院の予防医学センターでは、膵臓がん等の膵臓・胆嚢・胆管疾患の早期発見を目指した超音波内視鏡検査（EUS）を行っています。また、MRI検査と組み合わせることで、より高い発見率を目指しています。

超音波内視鏡検査（EUS）とは

①超音波内視鏡検査は先端に小型の高解像度超音波検査装置を取り付けた特殊な内視鏡を使い、内視鏡検査の手法を用い消化管内部より膵臓・胆嚢・胆管を観察する検査です。

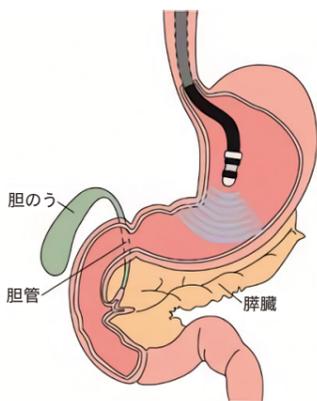


②CTや腹部エコーといった体外からの検査と違い、体内の胃や十二指腸といった膵臓、胆嚢、胆管と隣接する臓器から検査するため、それらの臓器が非常に良く観察できます。そのため小さな病変も発見可能です。

③安全な超音波検査ですのでX線の被曝がありません。

④基本内視鏡検査ですが、鎮痛鎮静剤を使用した検査ですので、眠っているうちに楽に

検査を受けることができます。



磁気共鳴画像診断（MRI）

MRI装置を用いて胆嚢や胆管、膵臓を同時に描出する検査です。大きな磁石のトンネル状の寝台に仰向けに寝た状態で検査します。

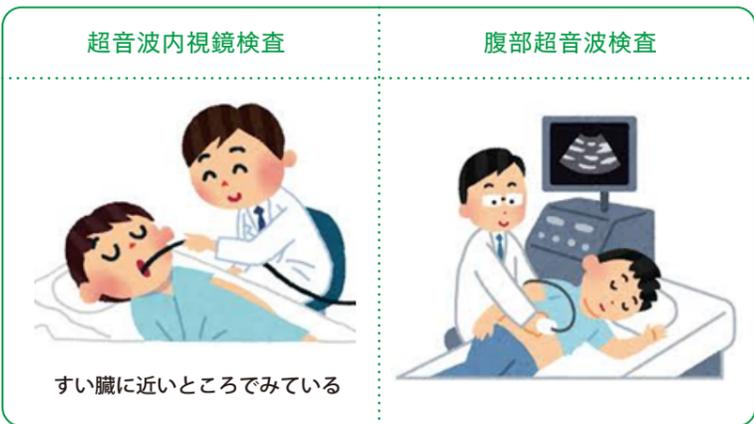
X線の被曝がありません。



腹部超音波検査と超音波内視鏡検査（EUS）の違い

◆腹部超音波検査
遠くから観察：肥満の方など、よく見えない。

◆超音波内視鏡検査
近くから観察：小さな病変もよく見える！
超音波内視鏡検査では、膵臓や胆管や胆嚢を1cm以内の近くにある胃や十二指腸から詳しく観察できます。



検査についての注意

以下の方は検査できない場合がありますので、必ず事前にお問合わせください。

- 超音波内視鏡検査（EUS）…心臓疾患、脳血管障害、呼吸器疾患や、てんかん（抗てんかん薬内服中も含む）治療中の方
- MRI（磁気共鳴画像診断）…動脈瘤クリップを装着されている方、心臓人工弁を装着されている方、人工骨頭を装着されている方、手術や事故などにより、体内に金属異物を有している方、妊娠中の方（可能性のある方）、狭いところが苦手な方、刺青（入れ墨）・刺青による眉・アイライナーの方（使用されている鉄粉に反応しやけどをする可能性があります。）

検査当日は、薬剤の影響が残るため、自動車、バイク、自転車の運転はできません。

当院の膵臓がんドックの特徴

1. **安全で苦痛のない1回の内視鏡検査**
高水準のCO₂-E₁6感染対策を行ったうえで、眠っている間に（鎮痛鎮静剤の使用※）、直視型超音波内視鏡を用いた精密な膵臓の超音波検査と胃がんの内視鏡検査を1回の検査で行います。（※一部の方は鎮静が効きにくい場合もあります）
2. **充実の検査体制**
検査及び結果の検討は超音波内視鏡のエキスパートが行います。
3. **検査後も安心**
万が一病気の疑いがあっても、当院でそのまま精密検査及び治療ができます。

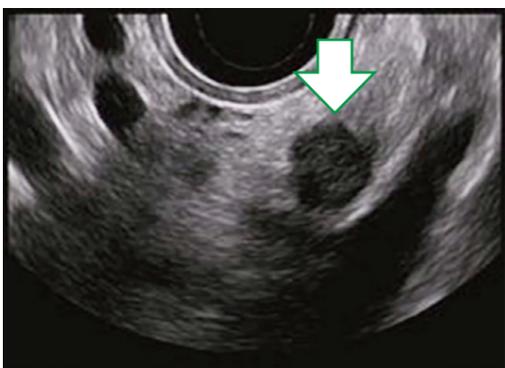
最後に…

膵臓がんは進行するスピードが速く、発症したことに気づかないばかりか、気づいた時にはすでに進行していることが多い疾患です。膵臓自体が身体の深部にあり、多くの臓器や重要な血管や神経に囲まれているため、発見が難しいがんといえます。定期的な検査が早期発見への近道ですので、現在の健康状態を把握するためにも、まずは年に1度、人間ドックなどを活用して異常がないことを確認しましょう。

お問合せ…予防医学センター
TEL 0948-29-8009
(平日10時～16時30分)



超音波内視鏡検査により描出された12mmの小型膵がん（上図の矢印）



超音波内視鏡検査で見つかる病気

- ◆膵臓…膵臓がん、慢性膵炎、膵管内乳頭粘液性腫瘍（IPMN）など
- ◆胆嚢…胆のう腫瘍、胆のう結石、胆のうポリープなど
- ◆胆管…胆管がん、総胆管結石など